

令和 6 年 7 月 18 日

令和 6 年度一般選抜前期
受験者ならびに関係者の皆様へ

京都女子大学
学 長 竹安 栄子

令和 6 年度一般選抜前期 A 方式(令和 6 年 1 月 29 日)化学の出題ミスについて

令和 6 年 1 月 29 日(月)に実施しました一般選抜前期 A 方式(令和 6 年 1 月 29 日)化学の問題におきまして、下記の出題ミスが判明いたしました。

この度の事案について、本学として真摯に受け止め、今後は再発防止に努めて参りますとともに、受験者の皆様ならびに関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫びします。

記

1. 入学試験実施日

令和 6 年 1 月 29 日

2. 出題ミスのあった試験問題等

(1)入試区分:一般選抜前期 A 方式(令和 6 年 1 月 29 日)

(2)科目:化学(受験者数 17 名)

(3)出題ミスの内容

化学の大問 I A 問 4 の問題文の選択肢「ウ」について、出題の意図を正しく反映していない表記があった。「ウ」の表記の場合、「発熱反応」ではなく、「吸熱反応」と表現することが正しい記述である。

(内容)＜問題文抜粋＞

問4 反応熱について、正しい記述、または、その組み合わせとして最も適当なものを、後の①～⑦の中から1つ選び、マークしなさい。解答番号は 4。

ア NaCl(固)がもつエネルギーよりも NaCl(aq) のもつエネルギーが大きいので、この溶解熱は負の値になる。

イ 生成熱の値は、反応によって正の値のときも負の値のときもある。

ウ 反応物の結合エネルギーの和が生成物の結合エネルギーの和よりも大きい場合、発熱反応になる。

① アのみ ② イのみ ③ ウのみ

④ ア、イ ⑤ ア、ウ ⑥ イ、ウ ⑦ ア、イ、ウ

(4)出題ミス発見の経緯

7月上旬に外部機関より出題内容についての確認があり、出題担当者および点検担当者による確認の結果、出題ミスであると判断しました。

3. 出題ミスへの対応

当該問題については、当該科目を受験した 17 名に対し、当該箇所の設問について、受験者全員正解(配点 3 点/100 点満点)として再集計を行いました。結果、2 月 16 日(金)に発表した合否結果に影響はありませんでした。

＜本件問合せ先＞

京都女子大学入試広報課

E-mail:nyuushi@kyoto-wu.ac.jp